

平成25年度

(2013年度)

入学者選抜要項

山口県立大学

目 次

1	山口県立大学の概要	1
2	アドミッション・ポリシー(入学者受入方針)	2
3	試験実施方式等	6
4	募集人員及び入学定員	7
5	山口県立大学入学試験実施日程	
(1)	一般選抜	8
(2)	特別選抜	9
6	入学者選抜の実施教科・科目等	10
7	一般選抜方法等	
(1)	出願要件	12
(2)	評価基準	13
8	特別選抜方法等	
◇	推薦選抜(県内高校)	14
◇	推薦選抜(県外高校)	19
◇	推薦選抜(自己推薦)	24
◇	社会人特別選抜	29
◇	外国人留学生特別選抜	34
9	障害等のある入学志願者との事前相談	38
10	山口県立大学入学資格審査実施要項	38
11	学生募集要項の請求方法	41
12	入試情報の開示	43
	《参考資料》	
	入学者選抜一覧表(過去3年分)	44
	山口県立大学案内図	47

1 山口県立大学の概要

山口県立大学は、かつて大内文化が華麗をきわめ、西の京とうたわれた山口市の北東の閑静な地、宮野桜島にあり、教育環境に恵まれた場所に位置しています。

本学は、1941（昭和16）年4月の創立から今年71周年を迎えました。設立当初の山口県立女子専門学校を母体とし、1950（昭和25）年4月、学制改革により山口女子短期大学となり、さらに、1975（昭和50）年4月、進展する社会の要請にこたえるため、文学部と家政学部の2学部からなる4年制の山口女子大学となり、女子の高等教育機関として発展してきました。

その後、時代の変化に柔軟に対応できる幅広い視野や豊かな創造性と実践力を持った、地域の発展に貢献できる、また、国際的に活躍できる人材の育成を推進するため、1994（平成6）年4月、文学部を改組して新たに国際文化学部ならびに社会福祉学部を設置しました。また、1996（平成8）年4月には看護学部を新設し、これを契機に、大学の名称を山口県立大学と改めました。さらに、1998（平成10）年4月には、家政学部を生活科学部と名称変更し、1999（平成11）年4月には、国際文化学研究科と健康福祉学研究科からなる大学院を設置し、総合大学を目指して一層の充実を図っています。

山口県立大学は、1996（平成8）年、男女共学の総合大学としての出発に当たり、教育の基盤となる次の4つの基本理念を定めました。

- 人間性の尊重
- 生活者の視点の重視
- 地域社会との共生
- 国際化への対応

この基本理念は、70有余年に及ぶ本学の教育の伝統と実績を活かしながら、時代の流れと地域社会の要請にこたえ、地域を大事にして“ひと”と生活と生命を大切にする校風をしっかりと確立していこうとする本学の進むべき方向を示しています。

また、山口県立大学は、2006（平成18）年4月から独立した法人格をもつ公立大学法人が設置・運営する大学となり、これまで以上に、大学の個性や特色をいかした大学運営が可能となり、教育研究の活性化や地域連携の強化等を通じて、学生へのきめ細やかな教育を展開し、地域の発展に貢献できる、また、国際的に活躍できる人材の育成を目指しています。

このため、看護・栄養分野における連携教育の効果的な推進、社会福祉分野における多様な地域ニーズへの対応、文化交流と文化創造の融合及び環境に関する教育研究を推進するため、2007（平成19）年4月に組織改編を行い、国際文化学部、社会福祉学部、看護栄養学部の3学部による教育を実施しています。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

(1) 山口県立大学の理念と目的

山口県立大学は、「人間性の尊重」、「生活者の視点の重視」、「地域社会との共生」、「国際化への対応」の4つを教育理念として掲げ、地域における知の拠点として、住民の健康の増進及び個性豊かな地域文化の進展に資する専門の学術を深く教授研究するとともに、高度な知識及び技能を有する人材の育成並びに研究成果の社会への還元による地域貢献活動を積極的に展開し、もって人々が生き生きと暮らす社会の形成に資する人材を育成することを目的としています。

(2) 本学が求める学生像

本学の4つの教育理念と目的を十分に理解し、幅広い教養と深い専門知識・技能を身に付けて社会への貢献や文化を創造する等の目的意識を明確に持ち、主体的に学ぶ勉強意欲と自らの資質・能力を伸ばしようとする熱意と意志をもって努力する人を求めています。

(3) 学部・学科が求める学生像

ア 国際文化学部

国際文化学部は、国際文化学科と文化創造学科の2つの学科から構成されています。

近年における急激な国際化の波はボーダーレス社会を生み出し、人々の価値観や生活の仕方に大きな変化をもたらすとともに、地域文化の衰退、危機をもたらしています。国際文化学科では、国際化に積極的に対応できる人材の養成や地域の国際化を推進できる人材の育成を、文化創造学科では、国際化の波の中で変貌を遂げていく地域の文化に焦点を当て、地域を新しい視点から再生、創造できる人材の育成をそれぞれ目指しています。

国際文化学部では、免許や資格の取得だけでなく、国際社会の文化的諸問題の理解や地域のまちづくり、文化づくりなどに果敢に挑戦しようとする元気のある若者を歓迎します。

(ア) 国際文化学科

国際文化学科は、多文化理解と他文化との交流能力の育成を目的とし、文化や社会の国際化、地域の国際化といった時代の変化や社会のニーズに対応するため、言語コミュニケーション能力や国際的な視点に立った文化理解力、それに基づく行動力などの実践的な能力を備えた人材の育成を目指して、教育と研究を行っています。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語（英語）はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

国際文化学科では、次のような能力や意欲、態度を備えている人の入学を歓迎し

ます。

- 外国の文化やそこで生活している人々から学ぼうとする意志や態度のある人
- 世界の社会的・文化的諸課題を自分の問題として捉え、その原因や背景を追求しようとする態度や意欲のある人
- 新たな外国語を学ぼうとする強い意志と一定の実践的英語コミュニケーション能力のある人
- 異なった文化を持つ人々との交流に必要な豊かな社会性や適応能力のある人
- 必要に応じて国内外に出向き、何でも見てやろうという自発的行動力のある人

(イ) 文化創造学科

文化創造学科は、自文化を深く理解する能力及び地域の特性（地域の文化・歴史）を尊重した新しい地域文化や生活文化の創造に資する能力の育成を目的とし、国際的視野から地域の歴史や文化を理解・再評価する能力とともに、地域から新しい文化を発掘・創造・発信するための課題発見能力や企画提案能力等を備えた人材の育成を目指して、教育と研究を行っています。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語（英語）はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

文化創造学科では、次のような能力や意欲、態度を備えている人の入学を歓迎します。

- 日本及び自分が生活する地域の歴史・文化に強い興味と関心を持つ人
- 地域の歴史や文化を国際的視点から深く学ぼうとする意欲や意志のある人
- 言葉や絵、デザインなどの表現やそれに基づく具体的なものづくりなどを通して、地域の生活文化を再生・創造しようという能力や熱意のある人
- 地域の多様な人々との交流に必要な豊かな社会性や人間関係力を備えた人
- 必要に応じて国内外に出向き、何でも見てやろうという自発的な行動力のある人

イ 社会福祉学部社会福祉学科

社会福祉学部は、社会福祉学科の1学科で構成されています。

社会福祉学科は、多様化・複雑化する福祉ニーズに対応し、地域社会の幅広い分野で福祉の向上に寄与できる人材の育成を目指して、福祉にかかわる理論的・実践的な教育と研究を行っています。社会福祉実践の基礎には他者との相互理解が必要であり、そのために深い知識と幅広い視野が求められます。

したがって、本学科を目指す人は、高等学校において国語、外国語（英語）といったコミュニケーションの基礎となる科目はもちろんのこと、幅広い基礎的な教科をしっかりと学習しておくことが大切です。

社会福祉学科では、次のような学力や意欲、態度などを備えた人を歓迎します。

- 福祉の理論を幅広く理解する基礎的学力のある人

- 福祉を实践する能力の基礎としての他者への共感性や思いやりの態度を備えた人
- ボランティア活動などの社会的活動に強い意欲や熱意のある人
- 活力ある福祉社会の実現を求めて、ともに語らい、ともに学び、ともに行動できる人

ウ 看護栄養学部

看護栄養学部は、看護学科と栄養学科の2つの学科から構成されています。

看護分野では、健康問題に直面する人々を身体的、精神的、社会的に評価し、自立していけるように専門的角度から支援を行い、栄養分野では、栄養状態を把握し、望ましい食行動を選択し、実践できるように専門的角度から支援を行いますが、いずれの分野においても「疾病」だけをみるのではなく「人」と「人を取り巻く環境」を包括的に捉え、問題解決を図る「ヒューマンケア」の視点を持つことが強く求められています。

看護栄養学部では、以上の基本的な認識に立ち、「看護、栄養の専門職に期待される知識、技術、態度を身につけ、人間尊重の精神と地域の生活者の視点を重視し、地域の人々の健康増進、疾病予防、療養上の支援のために協働できる人材の育成」を目指しています。

(ア) 看護学科

看護学科では、社会の変化に伴う看護ニーズを認識し、社会のさまざまな分野において、看護に期待される専門的機能を発揮することのできる能力を養い、人々の健康と福祉の向上に寄与できる人材の育成を目指して、一人ひとりの学生を大切に、きめ細かな教育と研究を行っています。

看護は人と関わる学問、仕事なので対人関係能力が大切になります。また、高校での学習では理科特に化学と生物に関する基礎的な知識及び考え方について理解できていると入学後もスムーズに看護学科での学習を進めて行くことができます。

したがって、看護学科では、次のような能力や意欲、態度を備えた人を求めています。

- 人への深い関心を持ち、人と関わるのが好きな人
- 看護学を学ぶために必要な幅広い基礎学力のある人
- 専門の勉学に強い意欲を持ち、目標を定めて、前向きに努力できる人
- 看護職に強く求められている、社会性、協調性、柔軟性、責任感のある人
- 将来、専門的な知識・技術を生かし、人々の健康や福祉のために貢献したいという熱意のある人

(イ) 栄養学科

栄養学科は、人々の健康を保持・増進し、豊かな生活を実現するために、一人ひとりの身体状況や栄養状態に応じた支援と活動が、栄養学及び関連する諸科学を踏まえて実践できる管理栄養士を養成しています。

そのため、栄養学科では、次のような能力や意欲、態度を備えた人を求めています。

- 高等学校で基本とされる教科を幅広く学び修得し、理科特に化学と生物の知識を十分に有している人
- 現代社会における様々な問題に対して多面的に考察し、自分の意見をまとめることができる人
- 「食と健康」に興味関心を持ち、身につけた知識・技能を福祉社会の創出のために役立てたいと考えている人
- 課題の内容を理解し、求められた説明や自分の意見を論理的に組み立て、分かりやすく伝えることができる人

3 試験実施方式等

本学の入学者選抜は、次の要領で実施します。

- (1) 入学者選抜は、一般選抜と特別選抜により行います。
- (2) 一般選抜は、「分離・分割方式」（前期日程・後期日程）により行います。
学内併願の制限を設けませんので、前期日程と後期日程の併願を認めます。
- (3) 特別選抜は、推薦選抜、社会人特別選抜及び外国人留学生特別選抜により行います。

4 募集人員及び入学定員

学 部	学 科	入 学 定 員	募 集 人 員						
			一般選抜		特 別 選 抜				
			前 期 日 程	後 期 日 程	推 薦 選 抜			社 会 人 別 選 抜	外 国 人 生 別 選 抜
					県 内 高 校	県 外 高 校	自 己		
国際文化学部	国際文化学科	60	27	6	18	9	若干名	若干名	
	文化創造学科	50	23	5	15	7	若干名	若干名	
社会福祉学部	社会福祉学科	100	46	8	28	18	若干名	若干名	
看護栄養学部	看護学科	50	23	5	17	5	若干名	0	
	栄養学科	40	20	2	12	6	若干名	若干名	
合 計		300	139	26	90	45	若干名	若干名	

(備 考)

推薦選抜のうち県外高校推薦と自己推薦の募集人員には、社会人特別選抜の若干名を含みます。

5 入学試験実施日程

(1) 一般選抜

分離・分割方式		
学部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部	
区分	前期日程	後期日程
大学 センター 入試 試験	1月19日（土）・20日（日）	
出願期間	1月28日（月）～2月6日（水）	
試験日	2月25日（月）	3月12日（火）
合格発表	3月5日（火）	3月22日（金）
入学 締切 日続	3月15日（金）	3月27日（水）

(2) 特別選抜

種 別	推薦選抜			社会人特別選抜	外国人留学生 特 別 選 抜
	県内高校	県外高校	自己		
学 部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部			国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部	国際文化学部 社会福祉学部 看護栄養学部 (栄養学科のみ)
出願期間	11月1日(木)～9日(金)				1月28日(月) ～2月6日(水)
試験日	11月24日 (土)	11月25日(日)			2月24日(日)
合格発表	12月3日(月)				3月5日(火)
	所属又は出身学校長 (高等学校長等)にも通知				
締入学 切手続 日	12月14日(金)				3月27日(水)

6 入学者選抜の実施教科・科目等

学部・学科等名 及び入学定員等		学力検査等 の区分・日程	大学入試センター試験の利用教科・科目名			個別学力検査等		
			教科	科目名等		教科等	科目名等	
国際文化学部 110人	国際文化学科 60人	前期 2月25日	国	国	必須	その他	小論文	
			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	選択2			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	選択2					
	数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報		選択2				
前期 後期 その他	27 6 27	後期 3月12日	理		理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I	必須	その他	面接
外	英		[3又は4教科4科目]					
前期 後期 その他	文化創造学科 50人	前期 2月25日		国	国	必須	その他	総合問題 (注1)
			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	選択2			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	選択2					
	数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報		選択2				
前期 後期 その他	23 5 22	後期 3月12日	理		理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I	必須	その他	面接
外	英		[3又は4教科4科目]					
社会福祉学部 100人	社会福祉学科 100人	前期 2月25日		国	国	必須	その他	小論文
			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	選択1			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	選択1					
	数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報		選択1				
前期 後期 その他	46 8 46	後期 3月12日	理		理総A、理総B、物I、化I、生I、地学I	必須	その他	面接
外	英		[3教科3科目]					
看護栄養学部 90人	看護学科 50人	前期 2月25日		国	国	必須	その他	面接
			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	選択1			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	選択1					
	数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報		選択1				
	前期 後期 その他	23 5 22	後期 3月12日		理	物I、化I、生I、地学I	必須	その他
	外	英		[5教科5科目]				
前期 後期 その他	栄養学科 40人	前期 2月25日	国		国	必須	その他	面接
			地歴	世A、世B、日A、日B、地理A、地理B	選択1			
	公民	現社、倫、政経、倫・政経	選択1					
	数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報		選択1				
	前期 後期 その他	20 2 18	後期 3月12日		理	物I、化I、生I、地学I	必須	その他
	外	英		[5教科6科目]				
数	数I、数I・数A、数II、数II・数B、工、簿、情報	選択2						
理	物I、化I、生I、地学I		選択2					
外	英	[3教科5科目]						

【学部・学科等名及び入学定員等】欄

「その他」の人数は、推薦選抜（県内高校・県外高校・自己推薦）及び社会人特別選抜を合計したものである。

【大学入試センター試験の利用教科・科目名】欄

指定された教科（又は科目）の範囲内で、必要とする教科（又は科目）数を超えて受験している場合、得点の高い教科（又は科目）の得点を採用する。ただし、「『地理歴史』と『公民』」又は「理科」において2科目受験している場合、得点に関わらず、第1解答科目のみが採用対象となる（「『地理歴史』と『公民』」又は「理科」の中で、2科目必要な場合を除く）。

【個別学力検査等】欄

（注1）一定の長さの課題文を読んだ上で、解答は文章（1,000字以内）のみ、又は文章（400字以内）と絵・図を用いて行う。

大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等											その他の 選抜方法等
試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	総合問題	小論文	面接	配点合計	
センター試験	200	※100+※100				200				600	推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査								200		200	
計	200	200				200		200		800	
センター試験	200	※100+※100				200				600	
個別学力検査								200		200	
計	200	200				200		200		800	
センター試験	200	※100+※100				200				600	
個別学力検査							200			200	
計	200	200				200	200			800	
センター試験	200	※100+※100				200				600	
個別学力検査								200		200	
計	200	200				200		200		800	
センター試験	200	※100				200				500	推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査								200		200	
計	200	100				200		200		700	
センター試験	200	※100				200				500	
個別学力検査								100		100	
計	200	100				200		100		600	
センター試験	200	※100		100	100	200				700	
個別学力検査								200		200	
計	200	100		100	100	200		200		900	
センター試験	200	※100		100	100	200				700	
個別学力検査								200		200	
計	200	100		100	100	200		200		900	
センター試験	200	※100		100	200	200				800	推薦 社会人 外国人 追加合格
個別学力検査								100		100	
計	200	100		100	200	200		100		900	
センター試験				200	200	200				600	
個別学力検査								100		100	
計				200	200	200		100		700	

【大学入試センター試験・個別学力検査等の配点等】欄

配点に※印を付してある教科は選択教科を表す。

外国語の英語は、筆記(200点)の素点とリスニング(50点)の素点を合計し、4/5を乗じたものを得点とする。

7 一般選抜方法等

(1) 出願要件

本学に出願できる者は、次のいずれかに該当する者であり、平成25年度大学入試センター試験で本学の指定する教科・科目を受験していることを要する。

- ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者
- イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者
- ウ 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
- エ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者
- オ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者
- カ 文部科学大臣の指定した者
- キ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者
- ク 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者で、18歳に達した者

※ 個別の入学資格審査については、「10 入学資格審査（38ページ）」を参照

(2) 評価基準

【前期日程】

学部・学科	科目等	内 容
国際文化学部 国際文化学科	小論文	異文化理解・多文化理解という視点に立った問題意識、論理的思考力及び文章表現力を点数化して評価する。
国際文化学部 文化創造学科	総合問題	文化創造学科で学ぶための理解力、発想力、構成力、説得力及び表現力を点数化して評価する。
社会福祉学部 社会福祉学科	小論文	社会福祉学部で学ぶために必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、分析力、発想の柔軟性及び独創性を点数化して評価する。
看護栄養学部 看護学科	面接	個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などを中心とした質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。
看護栄養学部 栄養学科	面接	集団面接を行い、志望理由及び勉学への興味などに関する質問に対する応答能力を点数化して評価する。

【後期日程】

学部・学科	科目等	内 容
国際文化学部 国際文化学科	面接	個人プレゼンテーションと調査書による集団面接を行い、異文化理解・多文化理解という視点に立ったコミュニケーション能力、実践的行動力への期待度を評価する。 個人プレゼンテーションと調査書による集団面接の結果を総合して評価する。
国際文化学部 文化創造学科	面接	個人面接を行い、潜在能力の高さと社会性に重点を置き、総合的に評価する。
社会福祉学部 社会福祉学科	面接	集団ディスカッションと個人面接を行う。 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力及び議論全体を適切に進めていく態度等を評価する。 個人面接は、質問に対する応答から意欲、適性等を評価する。 集団ディスカッションの評価と個人面接の評価を点数化して評価する。
看護栄養学部 看護学科	面接	個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などの質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。
看護栄養学部 栄養学科	面接	集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味などに関する質問に対する応答能力を点数化して評価する。

8 特別選抜方法等

(1) 推薦選抜（県内高校） 《国際文化学部 国際文化学科》	
募集人員	18人
選抜期日	平成24年11月24日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、個人プレゼンテーション（注1）及び集団面接（英会話を含む）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等（高等学校、中等教育学校、特別支援学校高等部及び高等専門学校3年次をいう。以下同じ）を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき3人までとする。ただし、英語科又は分校のある高等学校については、英語科又は各分校から別枠で1人を加えることができる。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 個人プレゼンテーション、英会話による集団面接と調査書等による集団面接を行い、異文化理解・多文化理解という視点に立ったコミュニケーション能力、実践的行動力への期待度を評価する。 それぞれの面接の結果を総合して評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を100点の割合で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：個人プレゼンテーションのテーマは、当日示す。

(1) 推薦選抜（県内高校） 《国際文化学部 文化創造学科》	
募集人員	15人
選抜期日	平成24年11月24日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び集団面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき3人までとする。ただし、分校のある高等学校については、各分校から別枠で1人を加えることができる。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 文化創造学科で学ぶための理解力、発想力、構成力、説得力及び表現力を点数化して評価する。 〈面接〉 集団面接を行い、潜在能力の高さと社会性に重点を置き、総合的に評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を100点、総合問題を200点の割合で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：一定の長さの課題文を読んだ上で、解答は文章（600字以内）のみ、又は文章（300字以内）と絵・図を用いて行う。

(1) 推薦選抜（県内高校） 《社会福祉学部 社会福祉学科》	
募集人員	28人
選抜期日	平成24年11月24日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、集団ディスカッション（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 ただし、特別支援学校高等部については、平成24年3月修了及び平成25年3月修了見込みの者 2 志望動機が明確であり、本学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき3人までとする。ただし、福祉科又は分校のある高等学校については、福祉科又は各分校から別枠で1人を加えることができる。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力及び議論全体を適切に進めていく態度等を評価する。 個人面接では、質問に対する応答から意欲、適性等を評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：集団ディスカッションは、提示されたテーマについて集団討論を行う。

（注2）：個人面接は、高校生活及び本学部の志望動機等についての試問を行う。

(1) 推薦選抜（県内高校） 《看護栄養学部 看護学科》	
募集人員	17人
選抜期日	平成24年11月24日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき3人までとする。ただし、衛生看護科又は分校のある高等学校については、衛生看護科又は各分校から別枠で1人を加えることができる。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 看護学科で学ぶための必要な学力として、高等学校までの教育課程における基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力をみる問題を出題し、点数化して評価する。 〈面接〉 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などの質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、総合問題を200点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

(注1)：高等学校までの教育課程の学習理解を総合的に問う。

(注2)：志望理由、看護職への興味などを中心とした試問を行う。

(1) 推薦選抜（県内高校） 《看護栄養学部 栄養学科》	
募集人員	12人
選抜期日	平24年11月24日（土）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、集団面接（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県内の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき、3人までとする。ただし、分校のある高等学校については、各分校から別枠で1人を加えることができる。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団面接では、志望理由などの質問による勉学意欲の評価を、個人面接では、テーマ発表によるテーマへの対応・構成力・論理的思考力・表現力及び化学Ⅰ・生物Ⅰの基礎学力の評価を行い、それぞれを点数化して評価する。
合否判定基準	評定平均値を100点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

(注1)：志望理由などの試問を行う。

(注2)：当日与えられたテーマについての発表及び理科（化学Ⅰと生物Ⅰ）の基礎的な知識についての試問（筆記を含む）を行う。

(2) 推薦選抜（県外高校） 《国際文化学部 国際文化学科》	
募集人員	自己推薦選抜とあわせて9人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、個人プレゼンテーション（注1）及び集団面接（英会話を含む）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県外の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき1人までとする。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 個人プレゼンテーション、英会話による集団面接と調査書等による集団面接を行い、異文化理解・多文化理解という視点に立ったコミュニケーション能力、実践的行動力の期待度を評価する。 それぞれの面接の結果を総合して評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を100点の割合で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：個人プレゼンテーションのテーマは、当日示す。

(2) 推薦選抜（県外高校） 《国際文化学部 文化創造学科》	
募集人員	自己推薦選抜とあわせて7人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び集団面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県外の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1高等学校等につき1人までとする。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 文化創造学科で学ぶための理解力、発想力、構成力、説得力及び表現力を点数化して評価する。 〈面接〉 集団面接を行い、潜在能力の高さと社会性に重点を置き、総合的に評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を100点、総合問題を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：一定の長さの課題文を読んだ上で、解答は文章（600字以内）のみ、又は文章（300字以内）と絵・図を用いて行う。

(2) 推薦選抜（県外高校） 《社会福祉学部 社会福祉学科》	
募集人員	自己推薦選抜とあわせて18人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、集団ディスカッション（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県外の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 志望動機が明確であり、本学科に対する適性を有する者 3 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 4 学業成績優秀の者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき2人までとする。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力及び議論全体を適切に進めていく態度等を評価する。 個人面接では、質問に対する応答から意欲、適性等を評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：集団ディスカッションは、提示されたテーマについて集団討論を行う。

（注2）：個人面接は、高校生活及び本学部への志望動機等についての試問を行う。

(2) 推薦選抜（県外高校） 《看護栄養学部 看護学科》	
募集人員	自己推薦選抜とあわせて5人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県外の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 学業成績優秀の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1高等学校等につき1人までとする。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 看護学科で学ぶための必要な学力として、高等学校までの教育課程における基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力をみる問題を出題し、点数化して評価する。 〈面接〉 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などの質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点、総合問題を200点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：高等学校までの教育課程の学習理解を総合的に問う。

（注2）：志望理由、看護職への興味などを中心とした試問を行う。

(2) 推薦選抜（県外高校） 《看護栄養学部 栄養学科》	
募集人員	自己推薦選抜とあわせて6人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（推薦書・調査書等）、集団面接（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～5の全てに該当する者 1 山口県外の高等学校等を平成25年3月卒業（修了）見込みの者 2 人物・性行等、所属学校長（高等学校長等）が責任をもって推薦し得る者 3 調査書の全体の評定平均値が4.0以上の者 4 入学しようとする学科に対し、適性を有する者 5 合格した場合は、必ず本学に入学する者
推薦人数	1 高等学校等につき1人までとする。
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団面接では、志望理由などの質問による勉学意欲の評価を、個人面接では、テーマ発表によるテーマへの対応・構成力・論理的思考力・表現力の評価及び化学Ⅰ・生物Ⅰの基礎学力の評価を行い、それぞれを点数化して評価する。
合否判定基準	評定平均値を100点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：志望理由などの試問を行う。

（注2）：当日与えられたテーマについての発表及び理科（化学Ⅰと生物Ⅰ）の基礎的な知識についての試問（筆記を含む）を行う。

(3) 推薦選抜（自己推薦） 《国際文化学部 国際文化学科》	
募集人員	県外高校推薦選抜とあわせて9人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（志望理由書・自己推薦書・調査書等）、個人プレゼンテーション（注1）及び集団面接（英会話を含む）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～3の全てに該当する者 1 次の(1)又は(2)に該当する者であって、合格した場合には必ず本学に入学する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者 (2) 平成25年4月1日現在で満23歳未満の者であって、次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 ウ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者 2 国語、外国語（英語）、地理歴史、公民の中で、「教科の評定平均値」が4.0以上の教科が2教科以上ある者（注2） 3 国際交流活動又は地域活動を継続的に行っている者
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 個人プレゼンテーション、英会話による集団面接と調査書等による集団面接を行い、異文化理解・多文化理解という視点に立ったコミュニケーション能力、実践的行動力の期待度を評価する。 それぞれの面接の結果を総合して評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点（注3）、面接を100点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：個人プレゼンテーションのテーマは、当日示す。

（注2）：出願要件の1(2)のウに該当する者については、「『教科の評定平均値』が4.0以上」は「高等学校卒業程度認定試験の科目の評点が全てA又はB」と読み替える。

（注3）：出願要件の1(2)のウに該当する者の評定平均値に当たる点数については、高等学校卒業程度認定試験の評価を、A=4.5 B=3.5 C=2.5に換算して計算する。なお、高等学校等の在籍時の成績がある場合は、高等学校卒業程度認定試験の評価と合算して算出する。

(3) 推薦選抜（自己推薦） 《国際文化学部 文化創造学科》	
募集人員	県外高校推薦選抜とあわせて7人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（志望理由書・自己推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び集団面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～3の全てに該当する者 1 次の(1)又は(2)に該当する者であって、合格した場合には必ず本学に入学する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者 (2) 平成25年4月1日現在で満23歳未満の者であって、次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 ウ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者 2 国語、外国語（英語）、地理歴史、芸術の中で、「教科の評定平均値」が4.0以上の教科が2教科以上ある者（注2） 3 文化活動を継続的に行っている者
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 文化創造学科で学ぶための理解力、発想力、構成力、説得力及び表現力を点数化して評価する。 〈面接〉 集団面接を行い、潜在能力の高さと社会性に重点を置き、総合的に評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点（注3）、面接を100点、総合問題を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：一定の長さの課題文を読んだ上で、解答は文章（600字以内）のみ、又は文章（300字以内）と絵・図を用いて行う。

（注2）：出願要件の1(2)のウに該当する者については、「『教科の評定平均値』が4.0以上」は「高等学校卒業程度認定試験の科目の評点が全てA又はB」と読み替える。

（注3）：出願要件の1(2)のウに該当する者の評定平均値に当たる点数については、高等学校卒業程度認定試験の評価を、A=4.5 B=3.5 C=2.5に換算して計算する。なお、高等学校等の在籍時の成績がある場合は、高等学校卒業程度認定試験の評価と合算して算出する。

(3) 推薦選抜（自己推薦） 《社会福祉学部 社会福祉学科》	
募集人員	県外高校推薦選抜とあわせて18人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（志望理由書・自己推薦書・調査書等）、集団ディスカッション（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1及び2に該当する者 1 次の(1)又は(2)に該当する者であって、合格した場合には必ず本学に入学する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者 (2) 平成25年4月1日現在で満23歳未満の者であって、次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 ウ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者 2 部活動、生徒会活動、ボランティア、地域活動等、種々の社会的活動領域において積極的に活動に取り組み、その成果や業績が認められていると自己評価できる者
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団ディスカッションでは、意見の論理性、表現力、説得力、洞察力及び議論全体を適切に進めていく態度等を評価する。 個人面接では、質問に対する応答から意欲、適性等を評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点（注3）、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：集団ディスカッションは、提示されたテーマについて集団討論を行う。

（注2）：個人面接は、高校生活及び本学部への志望動機等についての試問を行う。

（注3）：出願要件の1(2)のウに該当する者の評定平均値に当たる点数については、高等学校卒業程度認定試験の評価を、A=4.5 B=3.5 C=2.5に換算して計算する。なお、高等学校等の在籍時の成績がある場合は、高等学校卒業程度認定試験の評価と合算して算出する。

(3) 推薦選抜（自己推薦） 《看護栄養学部 看護学科》	
募集人員	県外高校推薦選抜とあわせて5人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（志望理由書・自己推薦書・調査書等）、総合問題（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1及び2に該当する者 1 次の(1)又は(2)に該当する者であって、合格した場合には必ず本学に入学する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者 (2) 平成25年4月1日現在で満23歳未満の者であって、次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 ウ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者 2 理科は「生物Ⅰ」「化学Ⅰ」の両方を履修した者（注3）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	〈総合問題〉 看護学科で学ぶための必要な学力として、高等学校までの教育課程における基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力をみる問題を出題し、点数化して評価する。 〈面接〉 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などの質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。
合否判定基準	評定平均値を50点（注4）、総合問題を200点、面接を200点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：高等学校までの教育課程の学習理解を総合的に問う。

（注2）：志望理由、看護職への興味などを中心とした試問を行う。

（注3）：出願要件の1(2)のウに該当する者については、「理科は『生物Ⅰ』『化学Ⅰ』の両方を履修した者」は「理科は『生物Ⅰ』『化学Ⅰ』の両方に合格した者」と読み替える。

（注4）：出願要件の1(2)のウに該当する者の評定平均値に当たる点数については、高等学校卒業程度認定試験の評価を、A=4.5 B=3.5 C=2.5に換算して計算する。なお、高等学校等の在籍時の成績がある場合は、高等学校卒業程度認定試験の評価と合算して算出する。

(3) 推薦選抜（自己推薦） 《看護栄養学部 栄養学科》	
募集人員	県外高校推薦選抜とあわせて6人（社会人特別選抜の若干名を含む）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査（志望理由書・自己推薦書・調査書等）、集団面接（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	次の1～3の全てに該当する者 1 次の(1)又は(2)に該当する者であって、合格した場合には必ず本学に入学する者 (1) 高等学校又は中等教育学校を平成25年3月卒業見込みの者 (2) 平成25年4月1日現在で満23歳未満の者であって、次のいずれかに該当する者 ア 高等学校又は中等教育学校を卒業した者 イ 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 ウ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び平成25年3月31日までに合格見込みの者で、平成25年3月31日までに18歳に達する者 2 理科は「生物Ⅰ」「化学Ⅰ」の両方を履修した者（注3） 3 理科の「教科の評定平均値」が4.0以上の者（注4）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	〈面接〉 集団面接では、志望理由などの質問による勉学意欲の評価を、個人面接では、テーマ発表によるテーマへの対応・構成力・論理的思考力・表現力の評価並びに化学Ⅰ・生物Ⅰの基礎学力の評価を行い、それぞれを点数化して評価する。
合否判定基準	面接を300点で評価する。
その他	合格しなかった場合、一般選抜試験を受験しようとする者は、改めて平成25年度学生募集要項に定められた一般選抜の出願手続を行うこと。 この場合、あらかじめ大学入試センター試験を受験しておかなければならない。

（注1）：志望理由などの試問を行う。

（注2）：当日与えられたテーマについての発表及び理科（化学Ⅰと生物Ⅰ）の基礎的な知識についての試問（筆記を含む）を行う。

（注3）：出願要件の1(2)のウに該当する者については、「理科は『生物Ⅰ』『化学Ⅰ』の両方を履修した者」は「理科は『生物Ⅰ』『化学Ⅰ』の両方に合格した者」と読み替える。

（注4）：出願要件の1(2)のウに該当する者については、「理科の『教科の評定平均値』が4.0以上の者」は「高等学校卒業程度認定試験の理科の科目の評点が全てA又はBの者」と読み替える。

(4) 社会人特別選抜 《国際文化学部 国際文化学科》	
募集人員	若干名（県外高校推薦選抜及び自己推薦選抜とあわせて9人）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査、小論文及び個人面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	<p>平成25年4月1日現在で満23歳以上の者であって、次の1～8のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 6 文部科学大臣の指定した者 7 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者 8 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者（個別の入学資格審査については「10 入学資格審査」参照）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	小論文、面接
評価基準	<p>〈小論文〉 高等学校までの学習を前提として、異文化理解・多文化理解という視点に立った問題意識、論理的思考力、文章表現力を評価する。</p> <p>〈面接〉 志望理由や異文化理解・多文化理解に対する興味などについて試問し、社会人としての経験、勉学意欲、本学科への適性などを評価する。</p>
合否判定基準	小論文を100点、面接を50点で評価する。

(4) 社会人特別選抜 《国際文化学部 文化創造学科》	
募集人員	若干名（県外高校推薦選抜及び自己推薦選抜とあわせて7人）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査、小論文及び個人面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	<p>平成25年4月1日現在で満23歳以上の者であって、次の1～8のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 6 文部科学大臣の指定した者 7 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者 8 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者（個別の入学資格審査については「10 入学資格審査」参照）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	小論文、面接
評価基準	<p>〈小論文〉 高等学校までの学習を前提として評論などを題材に、読解力、論理的思考力、文章表現力などを評価する。</p> <p>〈面接〉 志望理由及び国際文化学への興味などについて試問し、社会的経験、勉学意欲、適性などを点数化し評価する。</p>
合否判定基準	小論文を100点、面接を50点で評価する。

(4) 社会人特別選抜 《社会福祉学部 社会福祉学科》	
募集人員	若干名（県外高校推薦選抜及び自己推薦選抜とあわせて18人）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査、小論文及び個人面接の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	<p>平成25年4月1日現在で満23歳以上の者であって、次の1～8のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 6 文部科学大臣の指定した者 7 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者 8 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者（個別の入学資格審査については「10 入学資格審査」参照）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	小論文、面接
評価基準	<p>〈小論文〉 社会福祉学科で学ぶための必要な読解力、論理的思考力、文章表現力、分析力、発想の柔軟性等から点数化して評価する。</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、質問に対する応答から意欲、適性、社会経験の豊かさや4年間の学業見通し等を評価する。</p>
合否判定基準	小論文（100点）、面接（100点）、提出された書類を総合的に評価して判定する。

(4) 社会人特別選抜 《看護栄養学部 看護学科》	
募集人員	若干名（県外高校推薦選抜及び自己推薦選抜とあわせて5人）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査、総合問題（注1）及び個人面接（注2）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	<p>平成25年4月1日現在で満23歳以上の者であって、次の1～8のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 6 文部科学大臣の指定した者 7 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者 8 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認めた者（個別の入学資格審査については「10 入学資格審査」参照）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	総合問題、面接
評価基準	<p>〈総合問題〉 看護学科で学ぶための必要な学力として、高等学校までの教育課程による基礎的な学力、読解力、論理的思考力及び表現力をみる問題を出題し、点数化して評価する。</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、志望理由及び看護職への興味・関心・動機などの質問に対する対応能力を通して、態度、理解力、表現力、積極性、社会性及び協調性に注目し、看護を学ぶ意欲、対人関係能力、適性等から評価する。</p>
合否判定基準	総合問題を200点、面接を200点で評価する。

（注1）：高等学校までの教育課程の学習理解を総合的に問う。

（注2）：志望理由、看護職への興味などを中心とした試問を行う。

(4) 社会人特別選抜 《看護栄養学部 栄養学科》	
募集人員	若干名（県外高校推薦選抜及び自己推薦選抜とあわせて6人）
選抜期日	平成24年11月25日（日）
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査及び集団面接（注1）の結果を総合して選抜する。
出願期間	平成24年11月1日（木）～11月9日（金）《必着》
出願要件	<p>平成25年4月1日現在で満23歳以上の者であって、次の1～8のいずれかに該当する者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成25年3月卒業見込みの者 2 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成25年3月修了見込みの者 3 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの 4 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 5 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成25年3月31日までに修了見込みの者 6 文部科学大臣の指定した者 7 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（大学入学資格検定規程による大学入学資格検定に合格した者を含む）及び平成25年3月31日までに合格見込みの者 8 本学の定めるところにより、個別の入学資格審査をもって、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学において認められた者（個別の入学資格審査については「10 入学資格審査」参照）
合格発表日	平成24年12月3日（月）
科目等	面接
評価基準	<p>〈面接〉</p> <p>集団面接を行い、志望理由及び健康科学への興味などの質問による勉強意欲と応答能力、化学と生物の基礎学力をそれぞれ点数化して評価する。</p>
合否判定基準	面接評価の点数を300点とし、志望理由書の評価を参考にして、総合的に判定する。

（注1）：志望理由、健康科学への興味などの質問及び理科（化学と生物）の基礎的な知識についての試問（筆記を含む）を行う。

(5) 外国人留学生特別選抜 《国際文化学部 国際文化学科》	
募集人員	若干名
選抜期日	2013年2月24日(日)
選抜方法	大学入試センター試験を課さず、書類審査、日本留学試験※(日本語、総合科目)、小論文(注1)及び個人面接の結果を総合して選抜する。 ※ 日本留学試験は、6月と11月のどちらでも利用できる。 日本留学試験の出題言語は、日本語とする。
出願期間	2013年1月28日(月)～2月6日(水)《必着》
出願要件	2013年4月1日現在で1及び2の要件を満たす者 1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者 2 次のいずれかに該当する者 (1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者 (2) 文部科学大臣の指定した者で、18歳に達した者※ ※ 国際バカロレア資格を有する者又は外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力に相当するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定(国の検定に準ずるものを含む)に合格した者
合格発表日	2013年3月5日(火)
科目等	小論文、面接
評価基準	〈小論文〉 国際文化学科で学ぶための必要な基本的読解力、論理的思考力、文章表現力などを評価する。 〈面接〉 個人面接を行い、志望理由、本学科で学ぶ意欲や適性、日本語会話能力、実践的行動力への期待度を総合的に評価する。
合否判定基準	日本留学試験の結果により、日本の大学で学ぶ基礎学力の有無を判定する。 小論文の点数、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に評価して判定する。

(注1)：日本語での出題

(5) 外国人留学生特別選抜 《国際文化学部 文化創造学科》	
募集人員	若干名
選抜期日	2013年2月24日（日）
選抜方法	<p>大学入試センター試験を課さず、書類審査、日本留学試験※（日本語、総合科目）、小論文（注1）及び個人面接の結果を総合して選抜する。</p> <p>※ 日本留学試験は、6月と11月のどちらでも利用できる。 日本留学試験の出題言語は、日本語とする。</p>
出願期間	2013年1月28日（月）～2月6日（水）《必着》
出願要件	<p>2013年4月1日現在で1及び2の要件を満たす者</p> <p>1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者</p> <p>2 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者</p> <p>(2) 文部科学大臣の指定した者で、18歳に達した者※</p> <p>※ 国際バカロレア資格を有する者又は外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力に相当するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者</p>
合格発表日	2013年3月5日（火）
科目等	小論文、面接
評価基準	<p>〈小論文〉 文化創造学科で学ぶための必要な基本的読解力、論理的思考力、表現力などを評価する。</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、志望理由、本学科で学ぶ意欲や適性、日本語能力などを総合的に評価する。</p>
合否判定基準	<p>日本留学試験の結果により、日本の大学で学ぶ基礎学力の有無を判定する。</p> <p>小論文の点数、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に評価して判定する。</p>

(注1)：日本語での出題

(5) 外国人留学生特別選抜 《社会福祉学部 社会福祉学科》	
募集人員	若干名
選抜期日	2013年2月24日（日）
選抜方法	<p>大学入試センター試験を課さず、書類審査、日本留学試験※（日本語、総合科目）、小論文（注1）及び個人面接の結果を総合して選抜する。</p> <p>※ 日本留学試験は、6月と11月のどちらでも利用できる。 日本留学試験の出題言語は、日本語とする。</p>
出願期間	2013年1月28日（月）～2月6日（水）《必着》
出願要件	<p>2013年4月1日現在で1及び2の要件を満たす者</p> <p>1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者</p> <p>2 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者</p> <p>(2) 文部科学大臣の指定した者で、18歳に達した者※</p> <p>※ 国際バカロレア資格を有する者又は外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力に相当するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者</p>
合格発表日	2013年3月5日（火）
科目等	小論文、面接
評価基準	<p>〈小論文〉 社会福祉学科で学ぶための必要な読解力、論理的思考力、文章表現力などを点数化して評価する。</p> <p>〈面接〉 個人面接を行い、志望理由などの質問に対する応答から意欲、適性、日本語能力などを評価する。</p>
合否判定基準	小論文（100点）、面接の評価、日本留学試験の結果を総合的に判定する。

（注1）：日本語での出題

(5) 外国人留学生特別選抜 《看護栄養学部 栄養学科》	
募集人員	若干名
選抜期日	2013年2月24日（日）
選抜方法	<p>大学入試センター試験を課さず、書類審査、日本留学試験※（日本語、理科「化学・生物」）及び個人面接（注1）の結果を総合して選抜する。</p> <p>※ 日本留学試験は、6月と11月のどちらでも利用できる。 日本留学試験の出題言語は、日本語とする。</p>
出願期間	2013年1月28日（月）～2月6日（水）《必着》
出願要件	<p>2013年4月1日現在で1及び2の要件を満たす者</p> <p>1 日本国籍を有さない者で、大学において教育を受ける目的を持って入国し本学に入学しようとする者</p> <p>2 次のいずれかに該当する者</p> <p>(1) 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者</p> <p>(2) 文部科学大臣の指定した者で、18歳に達した者※</p> <p>※ 国際バカロレア資格を有する者又は外国において学校教育における12年の課程を修了した者と同等以上の学力に相当するかどうかに関する認定試験であると認められる当該国の検定（国の検定に準ずるものを含む）に合格した者</p>
合格発表日	2013年3月5日（火）
科目等	面接
評価基準	<p>〈面接〉</p> <p>個人面接を行い、志望理由、化学と生物の基礎学力、大学で学ぶための必要な基礎英語能力及び日本語能力をそれぞれ点数化して評価する。</p>
合否判定基準	<p>日本留学試験を100点、面接を200点で評価し、成績証明書の成績を参考にして、総合的に判定する。</p>

（注1）：理科（化学と生物）と英語の素養の試問（筆記を含む）を行う。

9 障害等のある入学志願者との事前相談

本学に入学を志願する者で、障害（学校教育法施行令第22条の3に定める身体障害の程度）がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を要することがありますので、出願の前にあらかじめ本学に申し出てください。

なお、事前相談は受験生の負担軽減や、他の受験生に比べて不利にならないよう配慮するために行うものであり、相談することにより受験生に不利益を与えるものではありません。

(1) 相談の時期

- ア 一般選抜志願者 平成25年1月25日（金）まで
- イ 推薦入学志願者 平成24年10月9日（火）まで
- ウ 社会人特別選抜志願者 平成24年10月9日（火）まで

(2) 相談の方法

相談に当たっては、次の内容を記載した事前相談書（様式自由）を提出してください。

必要な場合は、本学において志願者又はその立場を代弁し得る出身高等学校関係者等との面談を行います。

- ア 障害の種類・程度（医師の診断書を添付すること）
- イ 受験上及び修学上希望する具体的措置
- ウ 高等学校等における生活状況等（主として授業関係）
- エ その他参考となる事項

10 入学資格審査

山口県立大学へ学校教育法施行規則第150条第7号の規定により出願する者については、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願を認めます。

入学資格審査は、入学試験管理委員会が次により実施します。

(1) 申請期限及び申請書類の提出先等

個別の入学資格審査により、入学資格の認定を受けようとする者の申請期限は、次のとおりです。

- ア 一般選抜志願者 平成25年1月25日（金）（必着）
- イ 社会人特別選抜志願者 平成24年10月9日（火）（必着）

受付時間は、9時から17時までとします。ただし、土曜日、日曜日及び祝日は受け付けません。

申請書類を郵送する場合は、必ず「簡易書留郵便」により申請期限までに必着するよう郵送期間を十分考慮して、封筒表面に「大学入学資格認定交付申請」と朱書して

発送してください。ただし、申請期限後に到着したもので、申請期限の前日以前の発信局消印のある「簡易書留速達」に限り、受け付けます。

また、返信用封筒（長形3号（縦23.5cm×横12cm）に本人の氏名・住所・郵便番号を明記し、380円分の切手を貼付したもの）を同封してください。

なお、持参する場合も上記の返信用封筒が必要になります。

提出先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2番1号
山口県立大学 学生支援部教務入試グループ
電話 083-928-5637（直通）
FAX 083-928-0212

(2) 入学資格審査の対象者

入学資格審査の対象者は、大学入学資格を有しない者で、平成25年3月31日までに18歳に達し、次のいずれかに該当する者とします。

- ア 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者及び卒業見込みの者
- イ 各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が、高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる者

(3) 申請手続

次の書類を取り揃えて申請してください。

ア 上記(2)のアに該当する者

- (ア) 入学資格認定審査申請書及び学習歴等の調書（本学所定の様式。本学のWebページからダウンロードして使用してください）
 - (イ) 当該学校の教育が12年の課程であることを証明できるもの
 - (ウ) 当該学校の教育内容等を証明できるもの
 - (エ) 卒業証明書又は卒業見込み証明書
- ※ (イ)及び(ウ)については不要場合があります。

イ 上記(2)のイに該当する者

- (ア) 入学資格認定審査申請書及び学習歴等の調書（本学所定の様式。本学のWebページからダウンロードして使用してください）
- (イ) 各種の学校等における学習歴及び社会における実務経験等が高等学校卒業と同等以上であることを客観的に確認できる書類

なお、学習歴等を確認できる書類が添付できない場合は、中学校卒業後、あなたがこれまで何をどのように学んできたか、詳しく記述してください（様式自由）。

(4) 入学資格審査の方法及び審査期間

- ア 入学資格審査は、申請書類により行います（必要に応じて、面接を行うこともあります）。
- イ 審査は原則として、次のとおり行います。
 - (ア) 一般選抜 平成25年2月1日（金）
 - (イ) 社会人特別選抜 平成24年10月16日（火）

(5) 入学資格審査基準

ア 上記(2)のアに該当する者

申請者の当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、申請者の学習歴、必要に応じて行う面接の結果を総合的に判断し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

※ 「当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じていること」とは、以下のとおりです。

当該学校の年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、全ての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに習得させる単位数と同等以上であること。

イ 上記(2)のイに該当する者

申請者の学習歴及び社会における実務経験等の実績、必要に応じて行う面接の結果を総合的に判断し、高等学校卒業と同等以上の学力があるかどうかを審査します。

(6) 入学資格審査の結果

入学資格審査の結果は、申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「山口県立大学入学資格認定書」を交付します。

(7) 山口県立大学入学者選抜試験の出願

「山口県立大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の入学者選抜試験に出願することができます。出願の際は、必ず「山口県立大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

11 学生募集要項の請求方法

募集要項の取り寄せ方法は以下のとおりです。

(1) 本学のWebページから請求する場合

本学のWebページから資料請求ができます。

詳しくは、山口県立大学Webページ (<http://www.ypu.jp/>) をご覧ください。

(2) テレメールで請求する場合

ア 電話又はインターネット（携帯電話・パソコン）をご利用ください。

 テレメール	電話の場合	IP電話 050-8601-0101 ※ 一般電話回線からの通話料金は日本全国どこからでも3分毎に約11円です。 ▼ 住所・名前の登録時には、ゆっくりはっきりと吹き込んでください。 登録された音声の不鮮明な場合は到着まで時間を要する場合があります。
	インターネットの場合	http://telemail.jp ※ 携帯電話・パソコンとも共通アドレスです。  ※ 対応する携帯電話で読みとれます。

イ 資料請求番号（6桁）を入力又はプッシュしてください。

資料名	資料請求番号	送料	発送開始予定日
大学案内	566562	240円	随時発送中
入学者選抜要項+大学案内	566552	390円	随時発送中
3年次編入学生募集要項	565242	200円	7月15日
学生募集要項	586552	390円	9月中旬
学生募集要項+大学案内	546652	390円	9月中旬

ウ あとは音声・画面のガイダンスに従って登録してください。

- ▼ 発送開始日以前に請求された資料は予約受付となり、発送開始日になりましたら一斉に発送されます。その際は、発送開始日から2～3日で資料が届きます。
- ▼ 送料は、届いた資料に同封されている支払方法に従いお支払いください（支払いに際しては手数料が別途必要になります）。送料は資料の重量変更により変更になる場合がありますので、予めご了承ください。

(3) モバっちょで請求する場合

ア 下記のバーコードを携帯電話で読み取りアクセスし、ページ内の指示に従って手続きしてください。料金は携帯電話料金と一緒に支払いができます。



<http://djc-mb.jp/yamaguchi-pul/>

イ 料金

資料名	送料+手数料	発送開始予定日
大学案内	250円	随時発送中
入学者選抜要項+大学案内	300円	随時発送中
学生募集要項	250円	9月中旬
学生募集要項+大学案内	300円	9月中旬

ウ 上記の請求方法のお問い合わせ先

モバっちょカスタマーセンター
電話 050-3540-5005 (平日10:00~18:00)

(4) 郵便局で請求する場合 (10月から案内開始) 【受付から1週間程度で送付】

郵便局に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程、大学募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上、送料と払込手数料120円分を添えて、ゆうちょ銀行又は郵便局の貯金窓口で申し込んでください。

なお、郵便局用願書請求カタログは9月以降、高等学校で入手できる場合もあります。

(5) 大学へ直接請求する場合

宛名を記入した返信用封筒(角形2号(縦33.2cm×横24cm)規格・390円分の切手添付)を同封して山口県立大学学生支援部教務入試グループへ請求してください。

なお、その際、請求する封筒の表に「募集要項請求」と朱書きしてください。

請求先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2番1号
山口県立大学 学生支援部教務入試グループ
電話 083-928-5637 (直通)

12 入試情報の開示

本学の入学試験を受験した者は、入学試験に係る個人別成績を開示請求することができます。

請求があれば、点数評価又は段階評価で成績を開示しますので、詳しくは、学生支援部教務入試グループにお問い合わせください。

請求・問い合わせ先

〒753-8502 山口市桜島3丁目2番1号
山口県立大学 学生支援部教務入試グループ
電話 083-928-5637（直通）

《参考資料》

平成22年度入学選抜一覽表

学部・学科	募集人員						志願者数						受験者数						合格者数						入学者数										
	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計							
	AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期	
							若干名							若干名							若干名							若干名							若干名
国際文化学部 国際文化学科	3	27	若干名	若干名	24	6	60	26	52	0	10	135	136	359	9	52	0	7	119	50	237	3	28	0	3	38	11	83	2	28	0	1	31	6	68
文化創造学科	3	22	若干名	若干名	20	5	50	15	29	0	3	88	102	237	9	29	0	2	80	28	148	3	22	0	1	27	7	60	3	22	0	0	21	5	51
国際文化学部・計	6	49	若干名	若干名	44	11	110	41	81	0	13	223	238	596	18	81	0	9	199	78	385	6	50	0	4	65	18	143	5	50	0	1	52	11	119
社会福祉学部 社会福祉学科	4	46	若干名	若干名	42	8	100	43	103	0	0	166	144	456	12	103	0	0	153	59	327	4	46	0	0	55	11	116	4	46	0	0	45	11	106
看護栄養学部 看護学科	3	22	若干名	-	20	5	50	35	73	3	0	92	128	331	9	73	2	0	88	53	225	3	23	0	0	23	6	55	3	23	0	0	22	6	54
栄養学科	2	18	若干名	若干名	18	2	40	33	62	1	0	50	40	186	7	62	1	0	48	20	138	2	19	1	0	20	2	44	2	19	1	0	19	2	43
看護栄養学部・計	5	40	若干名	若干名	38	7	90	68	135	4	0	142	168	517	16	135	3	0	136	73	363	5	42	1	0	43	8	99	5	42	1	0	41	8	97
合計	15	135	若干名	若干名	124	26	300	152	319	4	13	531	550	1,569	46	319	3	9	488	210	1,075	15	138	1	4	163	37	358	14	138	1	1	138	30	322

合格者数には追加合格者を含む。

AO入試の受験者は、第2次選考の受験者数である。

平成23年度入学選抜一覽表

学部・学科	募集人員						志願者数						受験者数						合格者数						入学者数										
	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計	特別選抜			一般選抜			合計							
	AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期		AO	推薦	社会人	外国人	前期	後期	
国際文化学部 国際文化学科	3	27	若干名	若干名	24	6	60	13	42	0	14	91	121	281	9	42	0	8	79	33	171	3	29	0	6	35	12	85	3	29	0	4	24	9	69
文化創造学科	3	22	若干名	若干名	20	5	50	21	47	1	3	74	93	239	9	47	1	2	65	31	155	3	22	1	1	32	9	68	3	22	0	0	27	5	57
国際文化学部・計	6	49	若干名	若干名	44	11	110	34	89	1	17	165	214	520	18	89	1	10	144	64	326	6	51	1	7	67	21	153	6	51	0	4	51	14	126
社会福祉学部 社会福祉学科	4	46	若干名	若干名	42	8	100	22	96	0	2	170	167	457	12	96	0	1	159	54	322	4	46	0	0	55	13	118	4	46	0	0	44	9	103
看護栄養学部 看護学科	3	22	若干名	-	20	5	50	41	100	2	0	89	125	357	10	100	2	0	81	49	242	3	22	1	0	24	5	55	3	22	1	0	20	5	51
栄養学科	2	18	若干名	若干名	18	2	40	16	64	3	4	59	22	168	6	64	3	4	57	8	142	2	20	0	0	21	3	46	2	20	0	0	18	2	42
看護栄養学部・計	5	40	若干名	若干名	38	7	90	57	164	5	4	148	147	525	16	164	5	4	138	57	384	5	42	1	0	45	8	101	5	42	1	0	38	7	93
合計	15	135	若干名	若干名	124	26	300	113	349	6	23	483	528	1,502	46	349	6	15	441	175	1,032	15	139	2	7	167	42	372	15	139	1	4	133	30	322

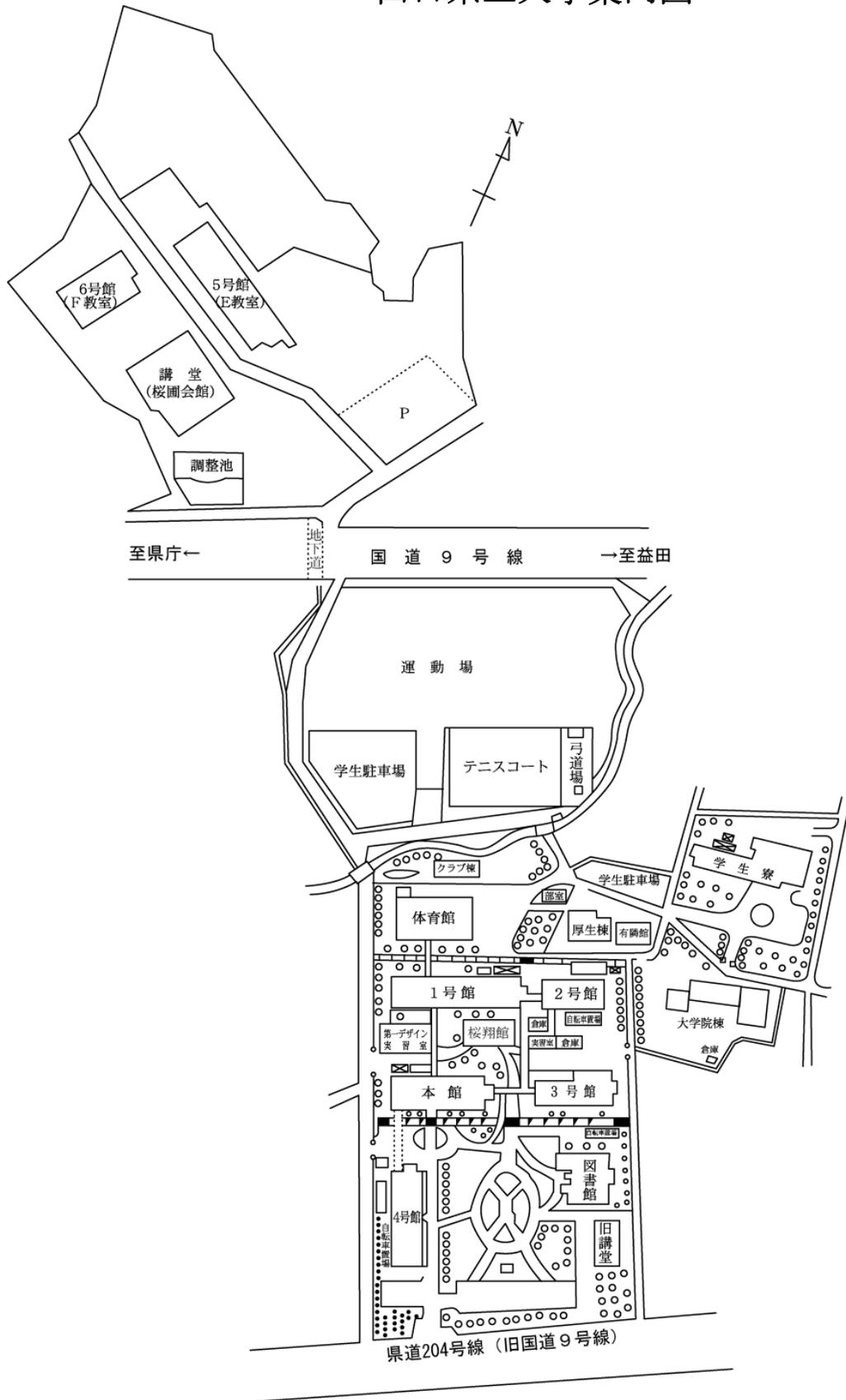
合格者数には追加合格者を含む。
AO入試の受験者は、第2次選考の受験者数である。

平成24年度入学者選抜一覽表

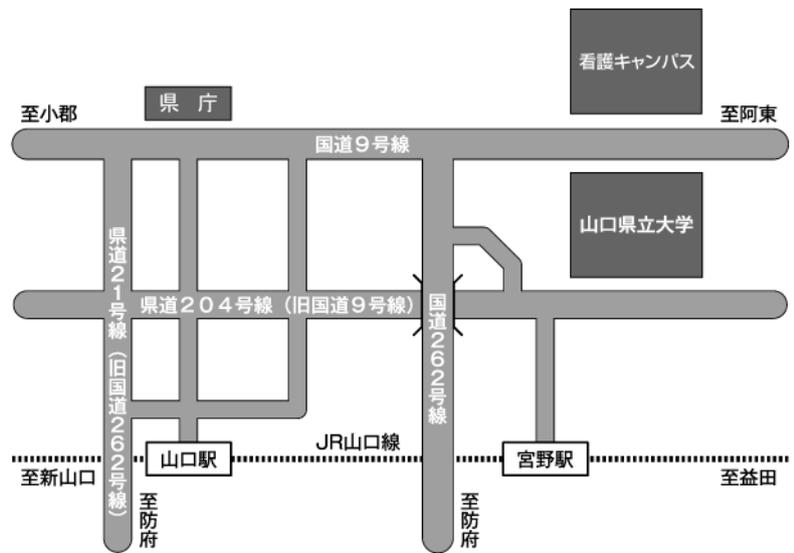
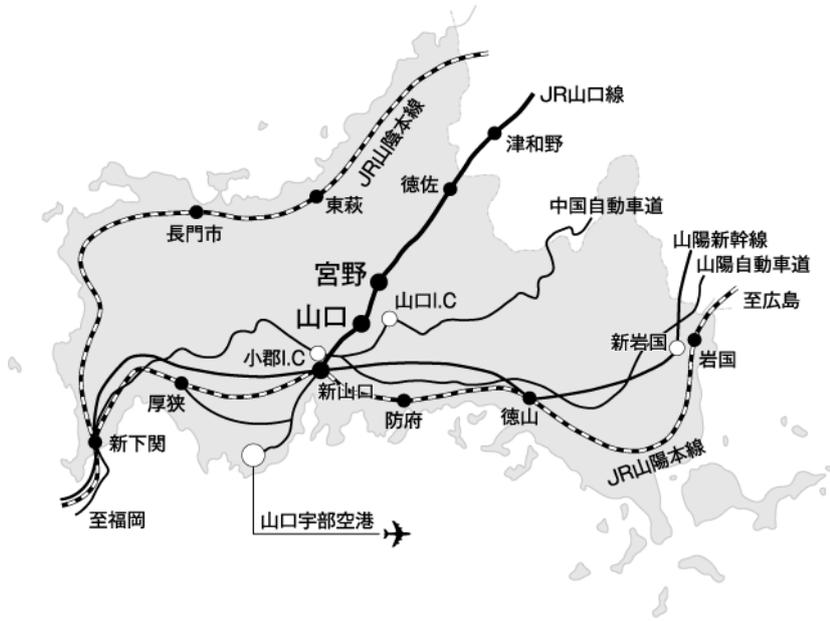
学部・学科	募集人員						志願者数						受験者数						合格者数						入学者数									
	特別選抜			一般選抜			特別選抜			一般選抜			特別選抜			一般選抜			特別選抜			一般選抜			特別選抜			一般選抜						
	AO	推薦	社会人 外国人	外国人	前期	後期	AO	推薦	社会人 外国人	外国人	前期	後期	AO	推薦	社会人 外国人	外国人	前期	後期	AO	推薦	社会人 外国人	外国人	前期	後期	AO	推薦	社会人 外国人	外国人	前期	後期				
																															合計	合計	合計	合計
国際文化学部 国際文化学科	3	27	若干名	若干名	24	6	15	37	0	22	83	112	269	9	36	0	18	71	27	161	3	26	0	7	34	9	79	3	26	0	6	27	6	68
文化創造学科	3	22	若干名	若干名	20	5	9	40	0	9	98	100	256	9	40	0	5	91	30	175	3	23	0	1	31	8	66	3	23	0	1	23	7	57
国際文化学部・計	6	49	若干名	若干名	44	11	24	77	0	31	181	212	525	18	76	0	23	162	57	336	6	49	0	8	65	17	145	6	49	0	7	50	13	125
社会福祉学部 社会福祉学科	4	46	若干名	若干名	42	8	19	82	0	1	89	68	259	13	82	0	1	84	17	197	4	46	0	1	51	10	112	4	46	0	0	45	9	104
看護栄養学部 看護学科	3	22	若干名	-	20	5	44	88	1	0	36	36	205	9	88	1	0	36	14	148	3	22	1	0	21	6	53	3	22	1	0	20	6	52
栄養学科	2	18	若干名	若干名	18	2	15	48	0	1	42	42	148	6	48	0	1	42	12	109	2	18	0	0	21	3	44	2	18	0	0	20	2	42
看護栄養学部・計	5	40	若干名	若干名	38	7	59	136	1	1	78	78	353	15	136	1	1	78	26	257	5	40	1	0	42	9	97	5	40	1	0	40	8	94
合計	15	135	若干名	若干名	124	26	300	102	295	1	33	348	1,137	46	294	1	25	324	100	790	15	135	1	9	158	36	354	15	135	1	7	135	30	323

合格者数には追加合格者を含む。
AO入試の受験者は、第2次書類選考の受験者数である。

山口県立大学案内図



Access Map



— 入学者選抜要項に関する問い合わせ先 —

山口県立大学学生支援部教務入試グループ

〒753-8502 山口県山口市桜畠3丁目2番1号

TEL 083-928-5637 (直通)

FAX 083-928-0212

電子メール nyushi@ypu.jp

Web ページ <http://www.ypu.jp/>



本文は古紙70%再生紙を使用